

[氷蓄熱マルチ・氷蓄熱ユニット/室外ユニット]

(50/60Hz)

系 統				
名 称	氷蓄熱ユニット		室外ユニット	
形 式	ISUP355HS1		FDCP280HKXIS1A	
能 力	蓄熱利用冷房能力	35.5		
	蓄熱非利用冷房能力	29.0		
	最大蓄熱利用暖房能力	31.5 (40.0)		
	蓄熱非利用暖房能力	29.2 (33.5)		
	蓄熱非利用暖房低温能力	22.9 (26.3)		
	冷房蓄熱容量	MJ	620	
暖房蓄熱容量	MJ	320		
電 気 特 性	蓄熱利用冷房消費電力	9.0 [5.6]		
	蓄熱非利用冷房消費電力	9.0		
	最大蓄熱利用暖房消費電力	8.0 (11.2)		
	蓄熱非利用暖房消費電力	8.0 (10.0)		
	蓄熱非利用暖房低温消費電力	7.6 (9.5)		
	冷房蓄熱消費電力量	kWh	74	
	暖房蓄熱消費電力量	kWh	46	
	蓄熱利用冷房運転電流	A	29.0 [18.0]	
	最大蓄熱利用暖房運転電流	A	26.0 (35.0)	
	蓄熱利用冷房能力維持時間	h	7.0 [3.0]	
蓄熱利用暖房能力利用時間	h	4.5 (4.0)		
最大蓄熱利用暖房能力維持時間	h	1.9 (1.9)		
外形寸法高さ×巾×奥行	mm	2130×1520×1700	1450×2009×600	
電 源		単相200V 50/60Hz	3相200V 50/60Hz	
製 品 質 量	kg	500	345	
運 転 質 量	kg	3060	—	
塗 装	色	ポーラホワイト (2.5Y7.5/1近似)	ポーラホワイト (2.5Y7.5/1近似)	
熱 交 換 器	製氷熱交換器 空気熱交換器	銅パイプ式	銅パイプスリットフィン式	
水 張 り 量	kg	2560	—	
ク ラ ン ク ケ ー ス ヒ ー タ	W	—	33+40	
凍 結 防 止 ヒ ー タ	W	30	—	
冷 媒 制 御	方式	温度式自動膨張弁・キャピラリー併用	温度式自動膨張弁・キャピラリー併用	
製 氷 方 式	方式	スタティック方式	—	
圧 縮 機 定 格 出 力	kW×台	—	3.5+3.75	
送 風 装 置	風 量	m ³ /min	270	
	定 格 出 力	W×台	100×3	
	機 外 静 圧	Pa	0	
冷 媒 封 入 量	kg	R407C	R407C	
冷 凍 機 油	ℓ	17(現地封入)	16.35	
運 転 音	通常運転	dB	60	
	サイレントモード	dB	57	
冷 媒 配 管	室内液管	φmm	12.7(ろう付け)	
	蓄熱間ガス管	φmm	31.8(ろう付け)	
	室外液管	φmm	12.7(ろう付け)	
	蓄熱間ガス管	φmm	28.58(ろう付け)	
	高圧ガス管	φmm	25.4(ろう付け)	
水 配 管	給水配管 (最大給水圧力)	kPa	Rp 3/4(メネジ) 300	
	排水配管	φmm	R 1(オネジ)	
	ドレン配管	φmm	Rp 1/2(メネジ)	
	オーバーフロー配管	φmm	25A	
防 音 ・ 防 振 ・ 断 熱	容 量 制 御	%	—	
保 護 装 置	容 量 制 御	%	100~9	

記事6による

- 記事 1.冷房・暖房能力および電気特性はJIS・B・8616条件によります。
 2.電気特性は室外ユニットと氷蓄熱ユニットの合計値です。
 3.[]内数値はピークカット運転時の値です。
 4.()内数値は暖房能力アップモード運転時の値です。
 5.蓄熱タイマー(ISU-WT:別売品)により蓄熱運転およびピークカット運転の運転時間を設定してください。
 6.保護装置
 ・高圧圧力開閉器
 ・送風用電動機インターナルサーモ
 ・マイコン暴走保護
 ・インバータ過電流保護
 ・パワートランジスタ過熱保護
 ・電源欠相保護
 ・電源逆相保護
 ・伝送異常保護
 ・センサ断線保護
 ・吐出管温度異常上昇保護
 ・給水異常
 7.冷媒配管“分岐”部品(別売品)
 組合せ台数・分岐方式(分岐管またはヘッダ)により選定してください。
 8.冷媒量は出荷時の封入量を示し、基準冷媒量(配管0m時)です。
 9.運転音はJIS規格に準拠し無響室にて測定し、ユニット前面1m、高さ1mでの値です。
 実際に据付けた場合は周囲の騒音や建物の反響を受け表示値より大きくなるのが普通です。

注意 1.室内ユニットの4方向吹出し天井埋込形コンパクトFDTCシリーズは接続できません。

通用機種 ISUP355HS1			
形式 FDCP280HKXIS1A			
発行番	名称	要目表(氷蓄熱ユニット・室外ユニット)	
北川	図番	訂 符 業 別	
01.12.07	PKC000Z143		1/1